



## 【発行】

偕行会リハビリテーション病院

地域医療連携室

〒490-1405 弥富市神戸5丁目20番地

TEL 0567-52-3892 FAX 0567-52-3907

## テーマ「透析センターの災害対策」



東日本大震災は記憶に新しいことと思います。東南海・南海地震が発生した場合、地震発生から約90分後に2~3m程度の津波が名古屋港に到達するとされています(名古屋市ハザードマップより)。

弥富市は海拔0m~マイナス地帯であり、2~3m程度の津波でも浸水の可能性があるため、今回、津波を想定して、血液透析患者さんの避難方法の変更を検討させていただきました。

従来は、地震が治まるのを待って、①治療中の血液を返さず、そのまま針を抜き、②表玄関から駐車場に避難し、③地区指定の避難場所(十四山東部小学校)へ避難する という方法でしたが、

- ・ 名古屋港までの津波到達時間が約90分はかかるといわれており、血液を返しても避難できる時間が十分とれること。
- ・ 被災者となった場合、避難生活が長期化する可能性があること。
- ・ 弥富市は液状化や地盤沈下が危惧される地域であり、約1.2km以上離れた避難場所の十四山東部小学校までの道のりは、時間も危険も伴う可能性があること。

以上より、①治療中の血液を体内に戻してから針を抜き、②裏玄関から屋上(津波の可能性のある場合)へ避難し、③当院で待機(建物が崩壊しない場合)していただく 方法に変更させていただきました。

病院崩壊の危険がない限りは、当院でご家族からのお迎えを待つこととさせていただきます(数日間は院内で生活できるよう、災害食の備蓄も整備しています)。

災害は忘れた頃にやってきます。治療中、いつ大地震がおきても、あわてず安全に透析患者さんに避難していただけるよう、定期的に避難訓練を実施させていただきますので、ご理解ご協力よろしくお願いいたします。



透析センター  
課長 林 恵美